

佐賀県の飼養豚でCSF（豚熱）が発生！！

8月29日、佐賀県の養豚農場において、CSF（豚熱）の発生が確認されました。平成30年9月に岐阜県の養豚農場における発生が確認されて以来、九州の養豚農場では初の発生となります。CSFは特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です！発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等、異状を発見したら直ちに通報しましょう！



耳翼の紫斑



元気がない



結膜炎



※CSFについて
 (農林水産省HP)



豚熱（CSF）は、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。豚肉の摂取により、豚熱が人に感染することは世界的に報告されていません。また、法律に基づき、豚肉は全て検査に合格したものだけが流通することになっています。検査で豚熱であると確認された肉や内臓などについては、市場に流通することはありません。

肉用牛の暑熱対策は、9月も継続しましょう

和牛繁殖経営では受胎率の下がる暑熱期の繁殖管理をどう乗り切るかが重要です。熊本県の気温変動をみると、2022年9月は月の平均最高気温が30℃を超えており、今年の9月も牛にとって厳しい時期になることが予想されます。このような時期であっても、しっかりと種付けのできる飼養管理を行いましょう。

1. 和牛にとっての快適環境

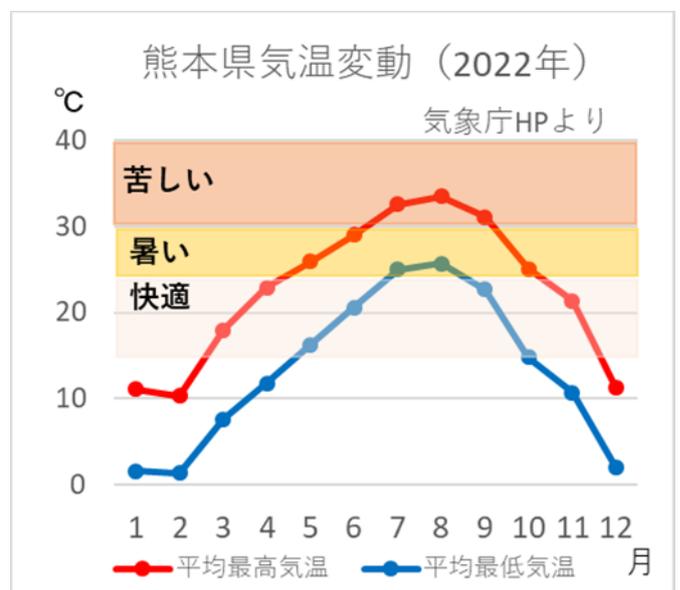
□ 快適
 気温15℃～25℃
 体温維持のエネルギーが最小限
 快適に過ごせる環境



□ 暑い
 気温26℃～30℃
 体温調整できる高温限界

□ 苦しい
 気温30℃以上
 食欲が減退し、繁殖障害が起こる

快適温度域を超えて気温が上昇すると、体温上昇を防ぐため呼吸・発汗が増えます。



2. 快適さの指標

温湿度指数（THI指数）

体温調整には気温と湿度が影響するため、これを指標化して判断します。THI指数は気温と湿度の関係性を総合的に評価する指標です。和牛の場合は、**THI指数70以上は要注意**となります。

3. 暑熱による食欲減退

体温上昇の影響

□ ルーメンの機能低下で食欲減退

ルーメン内で粗飼料が分解されて生じる発酵熱で体温上昇してしまうのを自ら制御する

□ 選び食いでルーメンアシドーシスの危険性大

ルーメンに滞留しやすい粗飼料よりも分解が早い配合飼料を選び食ひし、pHが酸性に傾く

□ 栄養障害による繁殖障害

体温上昇による栄養障害はホルモン分泌を乱し、発情微弱や卵胞嚢腫、排卵停滞を引き起こす

【対策】 なんとか食べさせる努力をしましょう！

飼料の食い込みを改善し、十分な乾物摂取量を維持しましょう

- 給飼方法の変更を検討（夜間給飼・1回分を数回に分ける）
- 粗飼料を細断（2～3 cm程度）し配合飼料に混合すると、ルーメン滞留時間を短縮させ、選び食いを防止する
- 暑熱時は、養分要求量が1割程度増加するため、飼料の栄養価を高める
- 栄養価が高く消化性の良い粗飼料の給飼を検討する
- ルーメンのpHを安定化させるため、炭酸水素ナトリウム（重曹）を添加

牛舎内の暑熱対策

牛が牛舎内で快適に過ごせるように、気温・湿度を下げて、風量を増やして体温調整がしやすい環境作りをしましょう

- **気温**：日当たりや、屋根や床が日光に暖められ牛舎内温度が上昇する輻射熱に注意しましょう
- **湿度**：湿気を減らす工夫をし、水汚れを掃除しましょう
- **風**：牛舎内に効率よく空気を流す工夫をし、送風機などの汚れやゴミを掃除しましょう

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	ロシア	家きん	令和5年8月9日
		南樺太	野鳥及び愛玩鳥等	令和5年7月17日
			野鳥及び愛玩鳥等	令和5年7月25日
		中国	野鳥及び愛玩鳥等	令和5年7月4日
		台湾	家きん	令和5年7月18日
口蹄疫	O型	新疆ウイグル自治区	牛	令和5年5月10日
アフリカ豚熱		韓国	野生いのしし（22件）	令和5年7月～8月

令和5年(2023年)8月31日現在



毎月**20日**はくまもと家畜防疫の日

定期的な消毒を実施しましょう！

